

スマートメーター運用管理システムに関わる  
公募型 R F P 募集要領

平成 2 6 年 2 月

九州電力株式会社

## 1 主旨

本要領は、当社がスマートメーターのデータ管理に関するシステムを構築するにあたり、公募により参加者を募集した後、資格審査に合格した参加者から、システム開発検証業務および運用保守業務に関する提案をいただき、調達先を選定する一連のプロセス（このプロセスを公募型RFP（Request For Proposal）といい、以下、本要領ではRFPといいます）を概説するとともに、本RFPの参加希望者が参加申請を行うために必要な手続を定めたものです。

## 2 提案依頼内容

### 2.1 提案範囲および見積範囲

スマートメーター運用管理システム（MDMS）の開発検証業務および運用保守業務を対象とします。

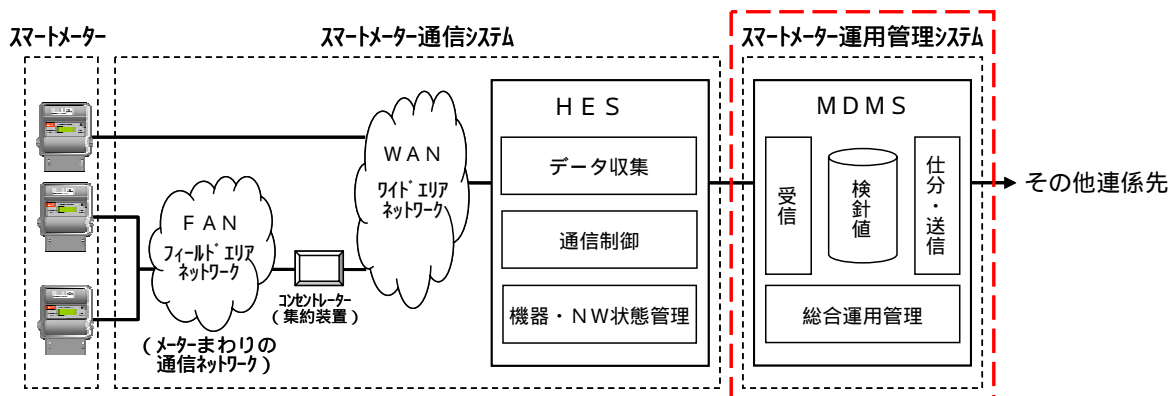


図1 提案および見積範囲（    提案・見積範囲）

### 2.2 システム化の基本方針

スマートメーター運用管理システム（MDMS）は、約800万口のお客さまのスマートメーター全般に対して、データ収集や管理を正確かつ確実にを行う必要があります。

また、お客さまの使用量等の情報を取り扱うことから、強固なセキュリティの確保が必要となるとともに、社会的に非常に重要なインフラとして、障害や災害時等においても、迅速な復旧が求められます。

スマートメーターは約10年間にわたり順次展開する計画であることから、長期的なシステム運用を考慮し、加えて、将来の業務要件変更能耐えうる柔軟性の高い情報システム基盤を構築する必要があります。これらを踏まえたシステム化の基本方針は次のとおりです。

- ・スマートメーターのデータ収集および管理が正確かつ確実にできること
- ・大量のデータを取り扱うことから、処理能力の高い適切なシステムであること
- ・一部の機能に生じた障害が他の機能に影響を与えないこと
- ・24時間365日の運用を可能とする運転やシステム全体の監視状況が管理できること
- ・外部からの不正アクセスやデータ改ざん、またデータ流出等のリスクに対して、確実なセキュリティシステムを構築すること
- ・災害、障害からの回復が容易なシステムであること
- ・保守メンテナンスが容易であること
- ・システムの構築、保守、運用に対して低コスト化が実現できること

- ・標準的な技術を採用し、機能追加に柔軟に対応できるシステムであること
- ・様々な通信方法における障害や問題が発生することを前提とし、その対応を考慮したシステムであること

### 2.3 システム機能の主な概要

- ・約 800 万口のお客さまのスマートメーターから 30 分毎に送信される計量値をデータベースに収録し、既存システム等に連係する機能
  - ・通信環境等により、スマートメーターから 30 分毎に送信される計量値が欠落した場合に、スマートメーターに収録されている計量値を遠隔で取得し自動補完する機能
  - ・既存システムで登録した情報等を連係する機能
  - ・スマートメーターの開閉や設定変更に関する情報を連係する機能
  - ・スマートメーターの情報を既存システムのお客さま情報と結び付けて保持する機能
- 詳細については 2 月下旬に開催する RFP 説明会にてご提示します。

## 3 参加資格・条件

### 3.1 参加資格

#### 3.1.1 技術要件

システム全般にわたり構築できることを参加資格としますが、プライムコントラクターとして複数者を取りまとめた応募も可能とします。また、参加者は以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ・本システムに相当する大規模プロジェクトの計画および実施の能力を有すること（過去の実績等により判断）
- ・以下の ~ のいずれかの条件を満たすこと
  - ・ CMMI レベル 3 認定を受け、かつこれが継続されていること
  - ・ ISO9001 認証を取得し、かつこれが継続されていること
  - ・ 国内または海外で大規模なスマートメーター運用管理システムの構築実績があること
- ・ ISO27001/ISMS 認証を取得していること。またはこれと同等の情報セキュリティ管理システムを確立していること
- ・ 本システムの成果物として日本語のドキュメントを納入するとともに、故障や不具合等に対し、1 日以内の迅速な日本語での対応や十分な技術サポートを行うための運用保守体制を確立すること

#### 3.1.2 プロジェクトリーダー要件

本システムの開発に関して、以下の条件をすべて満たすプロジェクトリーダーを選任できること

- ・大規模システム開発プロジェクトへの参加、もしくは運用保守業務の経験があること
- ・複数の大規模システム開発プロジェクトにリーダーとして参画経験があること
- ・提案書作成、プレゼンテーション実施の段階から開発期間を通じて参画できること
- ・当社との打合せ、協議等は日本語で実施すること

### 3.1.3 その他

参加者は3.1.1項の技術要件、3.1.2項のプロジェクトリーダー要件に加え、以下の条件を満たす必要があります。

- ・本事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有すること
- ・過去、現在、また将来にわたって、暴力団、暴力団員、暴力団関係者、総会屋、その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」という。）に該当しないこと。また、反社会的勢力と関係を有しないこと

これらの事実が判明した場合、当該参加者は、本RFPのプロセスに参加する一切の資格を失うものとします。

### 3.2 知的財産権等

納品物の納品完了後に行う当社の完了確認が終了した時点で、納品物の著作権（著作権法第 27 条および第 28 条に規定する権利を含む）を当社に譲渡するものとします。

また、当社に納品する納品物の所有権は、当社に移転するものとします。

### 3.3 その他の条件

- (1) 本番環境、開発検証環境は、当社施設に設置することを基本とします。
- (2) 本 RFP にかかる公募の申請、契約締結および契約後の業務遂行等において必要な当社との意思疎通については、すべて日本語で実施するものとします。
- (3) RFP説明会実施時に、当社から提案依頼書の一部またはすべてを、書面、電子データにて提供します。機密情報保護のため、資格審査合格者には添付書類の「機密保持に関する誓約書」を提出していただきます。また、当社から提案依頼書以外の情報を提供する際には、別途機密保持に関する手続を行っていただく場合があります。
- (4) 本 RFP の申請書の中で、当社へ提出された書類（申請書類、提案書、見積書およびプレゼンテーション資料等）は、審査以外の目的に利用しませんが、当社が必要と認める関係者に開示することがあります。また、当社へ提出された当該書類は、理由の如何を問わず返却いたしません。
- (5) 参加者が本RFPの申請に際し、要する下記の費用を含めたすべての費用は、参加者の負担とさせていただきます。
  - ・参加申請書類の作成および提出に要する費用
  - ・RFP説明会への参加に要する費用
  - ・提案書の作成および提出、プレゼンテーションの実施に要する費用 等
- (6) 本 RFP にかかる調達の内容、契約の条件等は、本要領に記載されているものに限定されるものではありません。また、当社が必要と認める場合には、4 項のフローの変更、その他本要領に記載される条件等の変更を行うことがあります。

#### 4 RFP全体のフロー

参加者の公募から調達先決定までの流れ（フロー）は以下のとおりです。（図2参照）

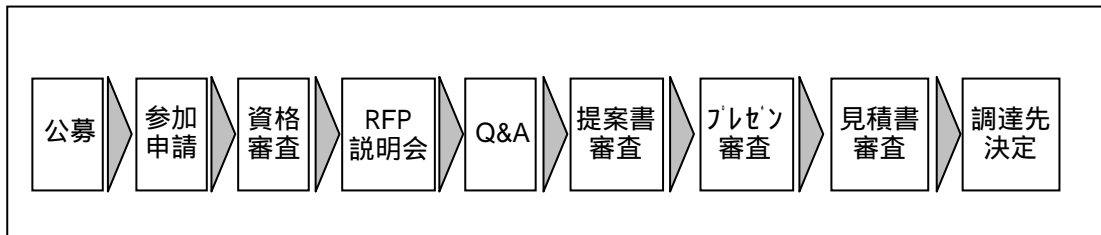


図2 公募から契約までのフロー

#### 5 RFP説明会開催までのスケジュール

##### 5.1 参加申請

##### 5.1.1 参加申請期間

平成26年2月3日（月）～平成26年2月12日（水）

##### 5.1.2 必要書類

次の必要書類の提出をもって参加意思の確認とさせていただきます。

スマートメーター運用管理システム 公募型RFP応募用紙

参加資格（技術要件）申請書（スマートメーター運用管理システム）（別紙1-1、別紙1-2）

参加資格（プロジェクトリーダー要件）申請書（スマートメーター運用管理システム）（別紙2）

反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意書（別紙3）

最新の会社概要、決算報告書（最新の3年間）

当社の取引会社として登録済の場合は の書類を提出していただく必要はありません。

##### 5.1.3 提出方法

「スマートメーター運用管理システム 公募型RFP応募用紙」、「参加資格（技術要件）申請書（スマートメーター運用管理システム）」、「参加資格（プロジェクトリーダー要件）申請書（スマートメーター運用管理システム）」をE-mailで提出していただいた上で、「スマートメーター運用管理システム 公募型RFP応募用紙（押印したもの）」、「反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意書（押印したもの）」、「最新の会社概要、決算報告書」を平成26年2月12日（水）日本時間17時必着で送付してください。

E-mail送付先

procurement@kyuden.co.jp

書類送付先

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82

九州電力(株) 業務本部 戦略購買グループ SM運用管理システム担当 宛

##### 5.1.4 その他

参加者は、当社から提供される提案依頼書の内容に基づいて、必要な企業と協力し、提案書の作成を行っていただきます。なお、RFPの参加申請時点では、協力企業の特定は不要です。

## 5.2 資格審査

5.1.2 項の必要書類に基づき、当社で資格審査を公平かつ厳正に実施します。審査結果につきましては、平成 26 年 2 月 18 日(火)日本時間 17 時までに、当社から電子メールにてお知らせします。資格審査に合格された参加者は、添付書類の「機密保持に関する誓約書」を平成 26 年 2 月 24 日(月)日本時間 17 時必着で送付していただきます。

## 5.3 RFP説明会

RFPの説明会を下記のとおり実施します。

### 5.3.1 参加資格

5.2項の資格審査に合格し、「機密保持に関する誓約書」を提出した参加者

### 5.3.2 実施日

平成26年 2 月25日(火) 予定

実施日時および実施場所は、説明会開催のご案内と併せてお知らせします。

### 5.3.3 内容

スマートメーター運用管理システムの仕様に対する要求事項および提案書作成要領について説明します。また、提案書作成にあたって必要な情報を提示します。

### 5.3.4 その他

説明会へのご参加は、各社 2 名までとさせていただきます。

なお、RFP説明会開催のご案内以降に、説明会への参加または提案書の提出を辞退される場合は、任意の書式で書面によりご連絡ください。

## 6 説明会以降の手続

4 項のフローに基づき、調達先を選定します。スケジュールの詳細は、RFP説明会時に提示します。

[添付書類]

- ・スマートメーター運用管理システム 公募型RFP応募用紙
- ・参加資格(技術要件)申請書(スマートメーター運用管理システム)(別紙1-1、別紙1-2)
- ・参加資格(プロジェクトリーダー要件)申請書(スマートメーター運用管理システム)(別紙2)
- ・反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意書(別紙3)
- ・機密保持に関する誓約書

[RFPに関するお問い合わせ先]

お問い合わせは、当社ホームページ「資材関係お問合せメール」にて日本語でお願いします。

土日・祝日のメールでのお問い合わせについては、翌営業日以降にご対応させていただきます。あらかじめご了承ください。

# スマートメーター運用管理システム 公募型RFP応募用紙

平成 年 月 日

九州電力株式会社  
業務本部戦略購買グループ 宛

住 所  
会 社 名

印

当社は、貴社のスマートメーター運用管理システムに関わる公募型RFPに関して、募集要領の参加条件を承諾したうえで、公募型RFPへの参加を希望します。

フリガナ		
会社名		
郵便番号	〒	
本店所在地		
フリガナ		
代表者		
担当者	所属	
	役職	
	フリガナ	
	名前	
	電話番号	
	電子メールアドレス	

公募型RFPの手続に関する連絡の窓口とさせていただきます。

以上



参加資格（技術要件）申請書（スマートメーター運用管理システム）

平成 年 月 日

会社名： \_\_\_\_\_

スマートメーター運用管理システムに関わる公募型RFP募集要領3.1.1項に定める技術要件に関して、次の項目毎に記載してください。当社の資格審査において確認させていただきます。

- ・「本システムに相当する大規模プロジェクトの計画および実施の能力を有すること」に関して、技術要件に該当する至近のプロジェクトについて、国名、業界、件名、該当理由、期間および規模（トータルコスト）を、下表に記載してください。また、プロジェクトの概要および規模がわかる資料を添付してください。

国名/業界	件名・該当理由	期間 (YYYY/MM ~ YYYY/MM)	規模 (トータルコスト： ¥ xxx,xxx,xxx)

必要に応じて行の追加・幅の調整をしてください。

## 参加資格（技術要件）申請書（スマートメーター運用管理システム）

平成 年 月 日

会社名： \_\_\_\_\_

スマートメーター運用管理システムに関わる公募型RFP募集要領3.1.1項に定める技術要件に関して、次の項目毎に記載してください。当社の資格審査において確認させていただきます。

- ・「以下の ~ のいずれかの条件を満たすこと

CMMI レベル3 認定を受け、かつこれが継続されていること

ISO9001 認証を取得し、かつこれが継続されていること

国内または海外で大規模なスマートメーター運用管理システムの構築実績があること」

に関して、 または の条件を満たす場合は、証明書の写しを添付してください。 の条件を満たす場合は、技術要件に該当する至近のプロジェクトについて、国名、件名、該当理由、期間および規模（トータルコスト）を下表に記載するとともに、プロジェクトの概要および規模がわかる資料を添付してください。

国名	件名・該当理由	期間 (YYYY/MM ~ YYYY/MM)	規模 (トータルコスト： ¥ xxx,xxx,xxx)

必要に応じて行の追加・幅の調整をしてください。

- ・「ISO27001/ISMS 認証を取得していること。またはこれと同等の情報セキュリティ管理システムを確立していること」に関して、ISO27001/ISMS 認証を取得している場合は証明書の写しを添付してください。また、ISO27001/ISMS 認証と同等の情報セキュリティ管理システムを確立している場合は、その内容および根拠がわかる資料を添付してください。

- ・「本システムの成果物として日本語のドキュメントを納入するとともに、故障や不具合等に対し、1日以内の迅速な日本語での対応や十分な技術サポートを行うための運用保守体制を確立すること」に関して、技術要件に該当する内容および根拠がわかる資料を添付してください。

以上

参加資格(プロジェクトリーダー要件)申請書(スマートメーター運用管理システム)

平成 年 月 日

会社名: \_\_\_\_\_

スマートメーター運用管理システムに関わる公募型RFP募集要領3.1.2項に定めるプロジェクトリーダー要件に関して、次の項目に記載してください。当社の資格審査において確認させていただきます。

- ・「本システムの開発に関して、以下の条件をすべて満たすプロジェクトリーダーを選任できること」に関して、回答欄の該当する方を 印で囲んでください。  
なお、その根拠となる資料(経験年数、経験業種、経験システムの種類など)については、提案時に提出していただきます。

プロジェクトリーダー要件	回答欄	
大規模システム開発プロジェクトへの参加、もしくは運用保守業務の経験がある	はい	いいえ
複数の大規模システム開発プロジェクトにリーダーとして参画経験がある	はい	いいえ
提案書作成、プレゼンテーション実施の段階から開発期間を通じて参画できる	はい	いいえ
当社との打合せ、協議等は日本語で実施する	はい	いいえ

## 反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意書

九州電力株式会社 殿

当社は、次のとおり、反社会的勢力でないことを表明し確約いたします。

なお、次の1.の各号のいずれかに該当し、もしくは2.の各号のいずれかに該当する行為をし、または本表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、貴社との取引が停止され、または契約の全部または一部を解除されても異議を申しません。また、これにより損害が生じた場合でも、いっさい当社の責任といたします。

1. 貴社との取引に際し、現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。

- (1) 暴力団
- (2) 暴力団員
- (3) 暴力団関係者
- (4) 総会屋
- (5) その他の反社会的勢力

2. 自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約いたします。

- (1) 反社会的勢力への資金提供
- (2) 反社会的勢力との密接な交際
- (3) 詐術、暴力的行為、又は脅迫的言辞を用いるなどの行為
- (4) 法的責任を超えた不当な要求行為
- (5) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴社の信用を毀損し、または貴社の業務を妨害する行為
- (6) その他前各号に準ずる行為

年 月 日

所在地：

社名：

役職名：

氏名：

印

本同意書の作成については会社を代理可能な役職の方のご署名（または記名・捺印）をお願いいたします。

## 機密保持に関する誓約書

九州電力株式会社 殿

貴社から提供を受ける「スマートメーター運用管理システム提案依頼書」(以下、「本RFP」という。)および本RFPに関し貴社から提供を受けた、または今後受ける情報(以下、あわせて「本RFP情報」という。)について、以下の事項を遵守いたします。

1. 本RFP情報を厳密に秘密として保持し、貴社の事前の書面による同意なく、自己の本RFPに係る役職員もしくは弁護士等のアドバイザーまたは貴社が別途定める要件を満たした当社の下で本RFPに参加する者(以下、あわせて「開示対象者」という。)以外の第三者に開示または漏洩しないこと。
2. 開示対象者に対して本RFP情報を開示する場合は、自己の責任において開示するものとし、本誓約書に定める義務と同等の義務を遵守させること。
3. 本RFPに係る検討、提案および質問等を行う以外の目的で、本RFP情報を使用しないこと。
4. 本RFP情報に係るすべての権利が貴社に帰属することを確認するとともに、本RFP情報に基づいてなされた発明、考案、意匠等の創作について、貴社の事前の書面による同意を得ない限り、特許権、実用新案権、意匠権等の権利の取得または出願等をしないこと。
5. 貴社から求められた場合は、本RFP情報(複写、引用、加工等した情報を含む。)を速やかに返却または廃棄すること。
6. 本RFP情報の正確性、有用性および非侵害性について、貴社に対しいかなる保証も求めないこと。
7. 上記各号に違反した場合、当該違反により貴社およびその関係者が被る損害、損失、費用等をすべて負担すること。また、その後の本RFPのプロセスに参加する資格を失うこと。
8. 本誓約書および本RFPに関する一切の紛争については、日本法に準拠するものとし、貴社所在地の裁判所をもって合意による専属的管轄裁判所とすること。

年 月 日

所在地：  
(誓約者)社 名：  
役職名：  
氏 名：

印

本誓約書の作成については会社を代理可能な役職の方のご署名(または記名・捺印)をお願いいたします。